

## 平垣町の 札の辻橋

### 語ってくれた人

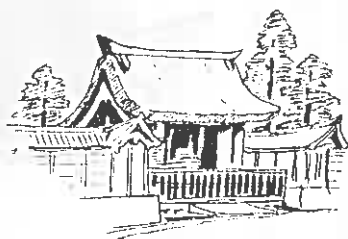
海野嘉一さん(平垣町)

富士本町通りから旧東海道を西へ五百メートル向かうと、札の辻橋にさしかかります。「札の辻」というのは、その昔、実相寺が全国でも名の知られたお寺として栄えていたころ、参拝に来た人たちが、ここでお札を買ったので付けられた、といわれています。

### 実相寺へあと一里

札の辻橋は、平垣本町の東京電力西側を流れる共同堀に架けられた、長さ五尺、幅八尺ほどの橋です。ここから西へ約四、五里ほどの所

昭和五十八年五月五日号



に実相寺があります。

岩本山を背にした実相寺は、今から八百余年前の久安年間、鳥羽法皇の仰せにより建てられたといわれています。当時、西に比叡山、



東京電力（平垣）横の「札の辻橋」

東の実相寺とまでうたわれ、全国でも有名な  
お寺でした。寺には、何百人という修業僧が  
勉強し、ここで寮生活を送っていたそうです。  
寺の敷地も広く、一里（約四キロ）、四方あり、  
南は現在の平垣まであったということですよ。

ちょうど、札の辻橋付近が境となり、全国  
から訪れる修業僧や信者たちは、ここでお札  
を買い境内へ向かっていったのではないでしょ  
うか。お寺の山門のようなものが、ここにあ  
ったのかもしれない。

旧東海道が通っているこの付近は相当昔か  
ら人家があり、栄えていたと思えるんです。  
昔、この付近は富士川の河原だった、といわ  
れますがそれは間違いですね……。